

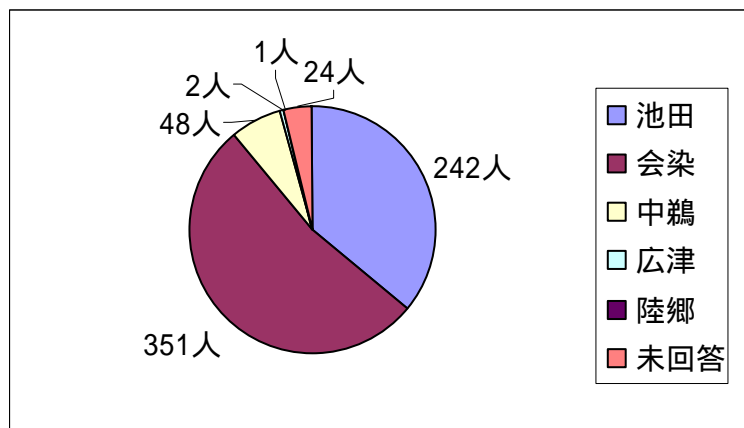
池田町次世代育成地域行動計画

池田町アンケート調査結果

ニーズ調査対象者

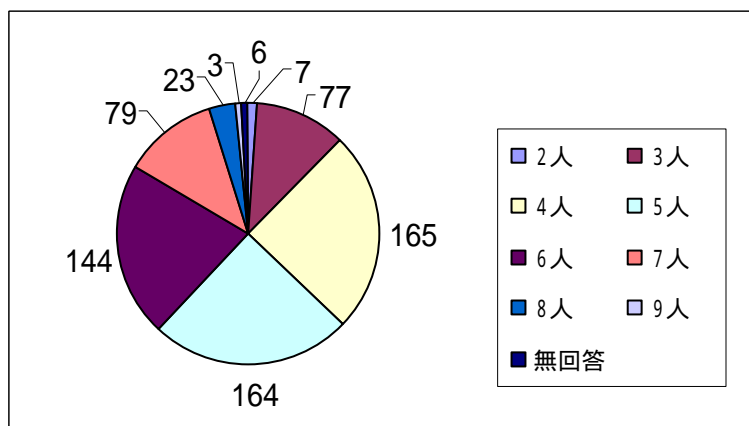
	就学前児童	小学校児童	合計
送付対象者家庭	361	412	773
送付数	353	412	765
送付率	97.78%	100.00%	98.97%
回収数	285	383	668
回収率	80.74%	92.96%	87.32%

問1 お住まいの地区(合計 668人)



会染地区に住む児童が、池田地区にくらべ多くなってきている。
 広津・陸郷地区は、ごく少数である。

問2 家族全員の人数(合計668世帯)

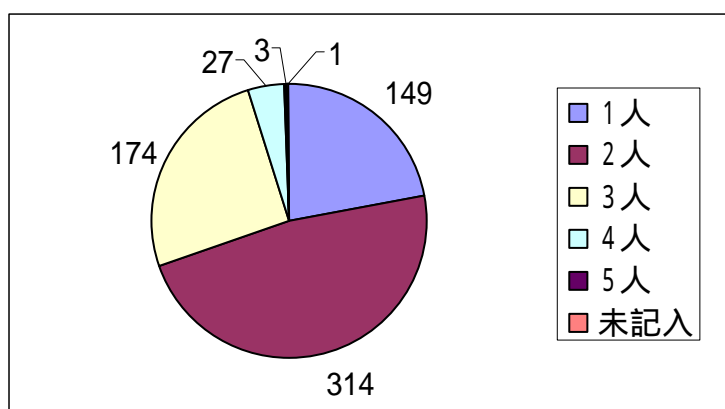


家族人数は4人・5人・6人が多い。大人数世帯は少ない。

問3 同居されている家族

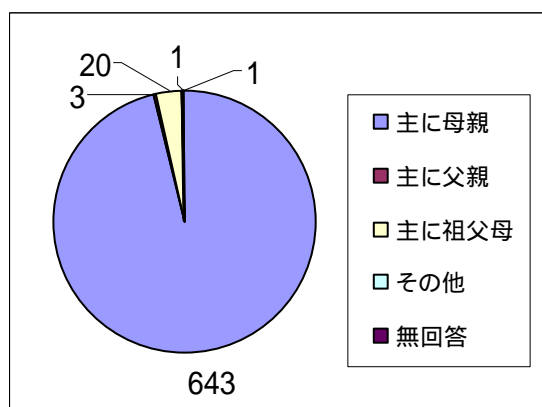
	合計
1. 母親	659
2. 父親	608
3. 祖母	314
4. 祖父	266
5. その他	80
無回答	1

問4 お子さんの人数



子どもは2人という家庭が約半数を占めている。
 続いて3人、1人となっている。多子家庭は極端に少ない。

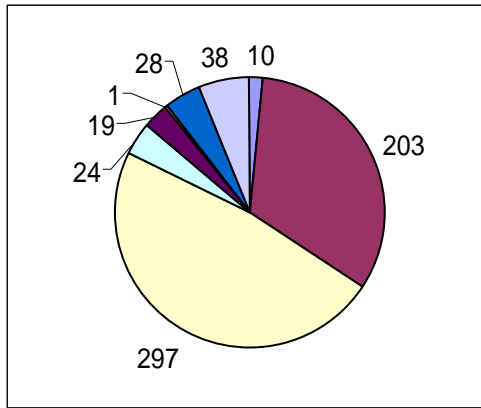
問5 お子さんの世話を主としているかた



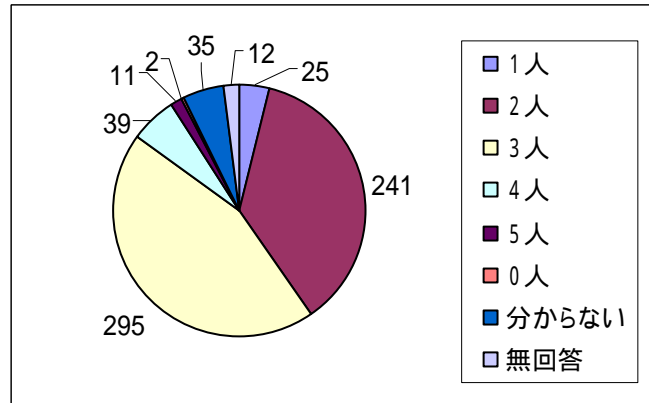
圧倒的に母親が世話をしている。祖父母は少ない。

問6 理想の子ども的人数

父親



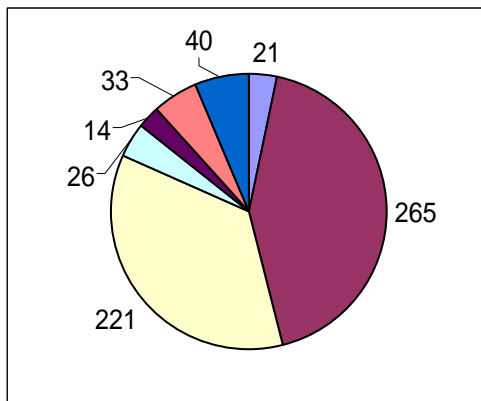
母親



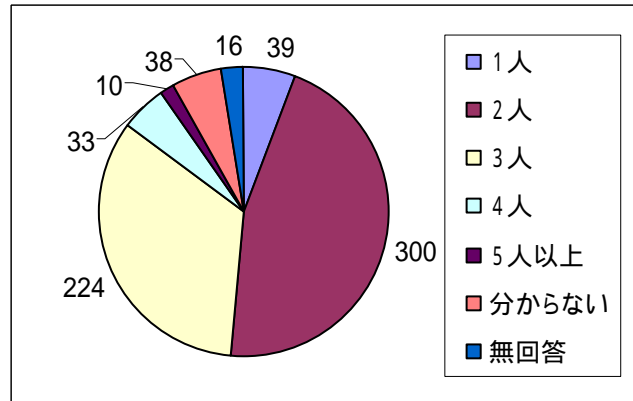
父親は、3人が1番多く、続いて2人となっている。4人以上は極端に少ない。
母親は、3人が1番多く、続いて2人となっている。父親と同じ傾向にある。

問7 現実の子ども的人数

父親



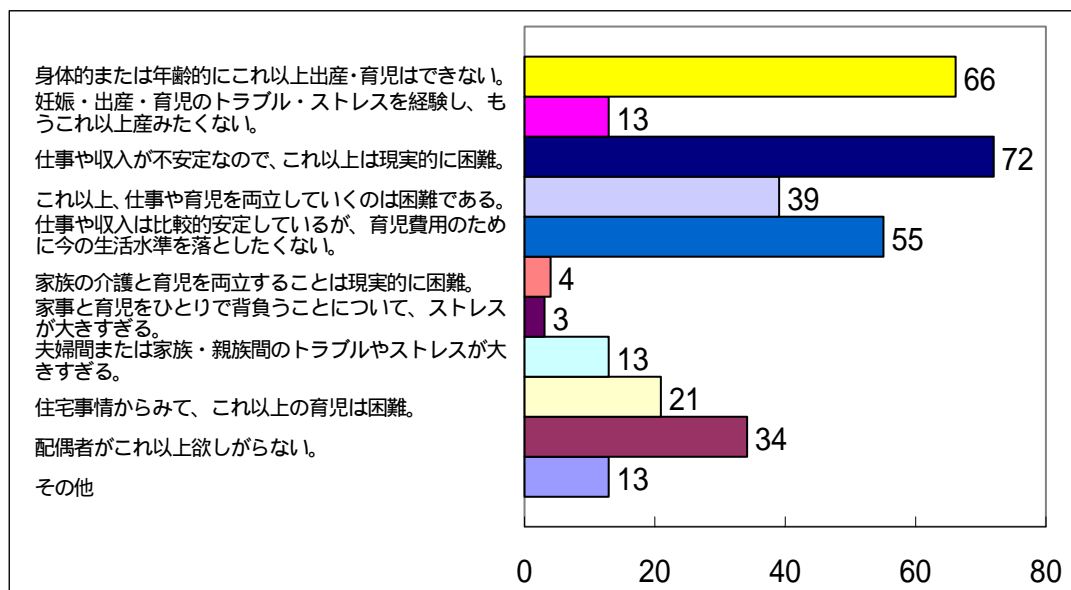
母親



父親は、2人で続いて3人となっている。理想の人数と逆になっている。
母親は、2人で続いて3人となっている。父親同様、理想と逆になっている。

問8 理想のこどもの数よりも現実の子どもの数が少ない理由

父親

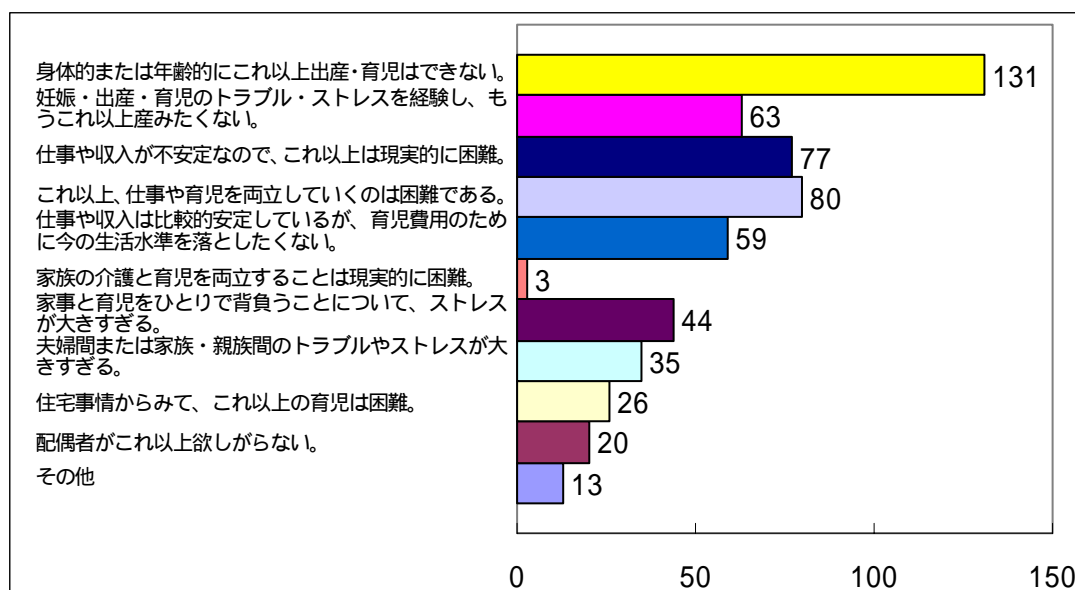


その他の内容

住宅ローンがあり、育児費用を考えると悩む	1
いずれはと思うが、今は想像ができない	1
仕事が忙しい	1
できなかった	1
教育にお金がかかるため	2
子どもがいると出かけることができない	1
経済的に無理	3
今の子どもがよい子に育ってくれて満足している	1
子どもが欲しがらない	1
人口的に老人を支えるには子どもは2人でも3人でも同じ	1

父親については、就学前は仕事や収入が不安定なので、これ以上は現実的には困難が多かった。小学校児童については、身体的または年齢的にこれ以上出産・育児ができないが多かった。

母親



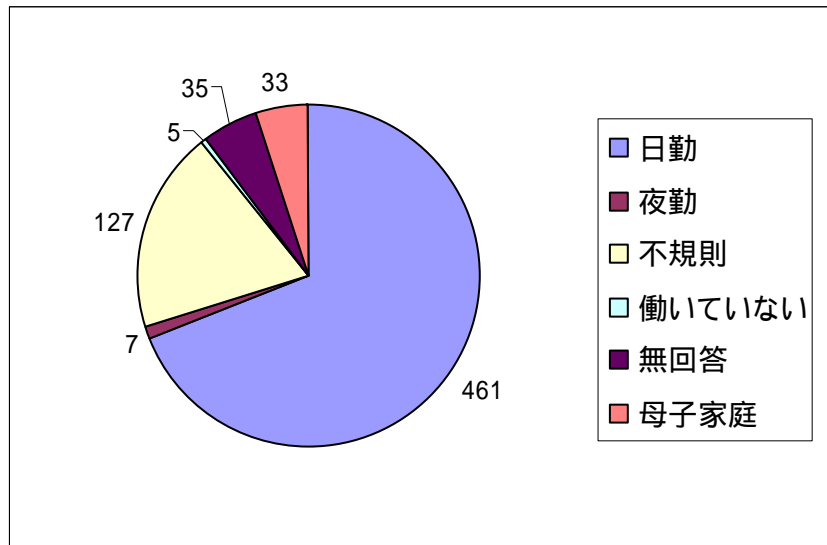
その他の内容

今の生活がギリギリ。3人目から保育料が減免されるなどのメリットがあれば、共働きして生活できる	1
母子家庭なので	1
ストレスを感じることもあり、子どもにあたってしまわないようにするためには1人がちょうどよい	1
1人目が帝王切開。次もそうではないかと不安	1
夢（仕事）をかなえるため自分の時間がつくれなくなるので	3
仕事を責任もって継続したいため、長期間休めないため	1
父親が不規則な勤務のため、母の負担が大きくて大変	1
子どもの人数が多いほど、お金がかかる	1
自分の母親としての資質に不安を感じる	1
子宝に恵まれない	2

母親はどちらも身体的または年齢的にこれ以上出産・育児はできないが圧倒的である。またこれ以上仕事と育児を両立していくのは困難であるも、2番目に多いが、両立の大変さがうかがえる。

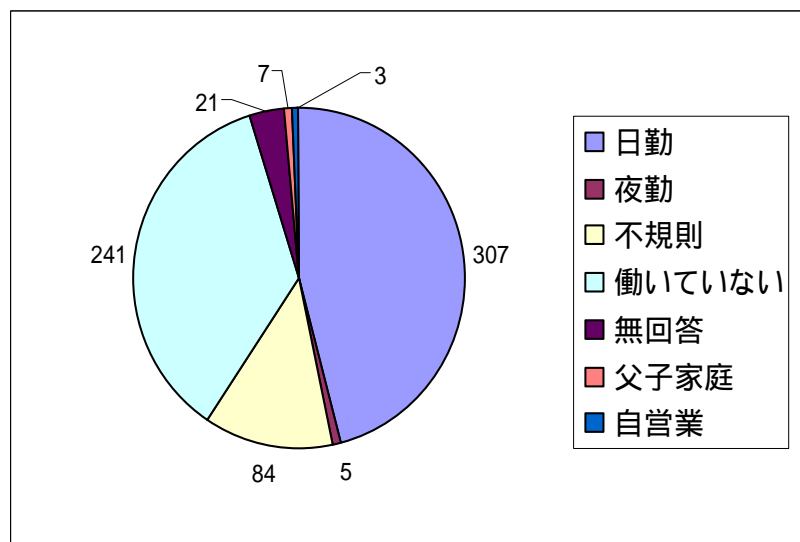
問9 勤務時間

父親



日勤が多い。不規則の中には夜間と夜の交替勤務が多く含まれている。働いていない人も5名いたが、不況と繁栄にいる。母子家庭も多い。

母親

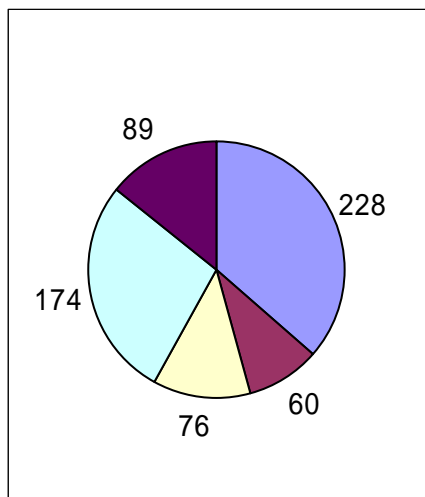


母親の就労も約6割を占めている。また、父子家庭も7世帯いる。

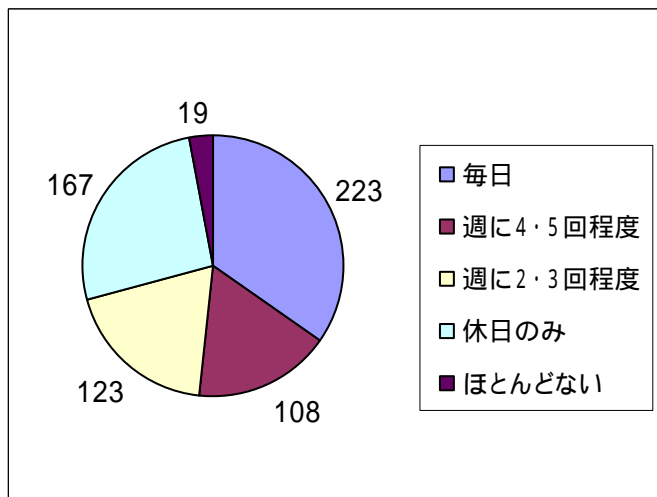
問10 お子さんと食事をしていますか

父親

朝食



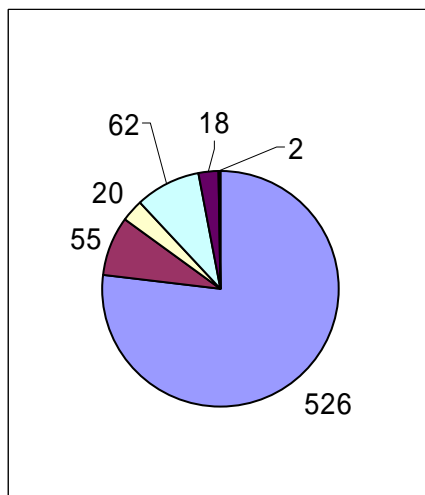
夕食



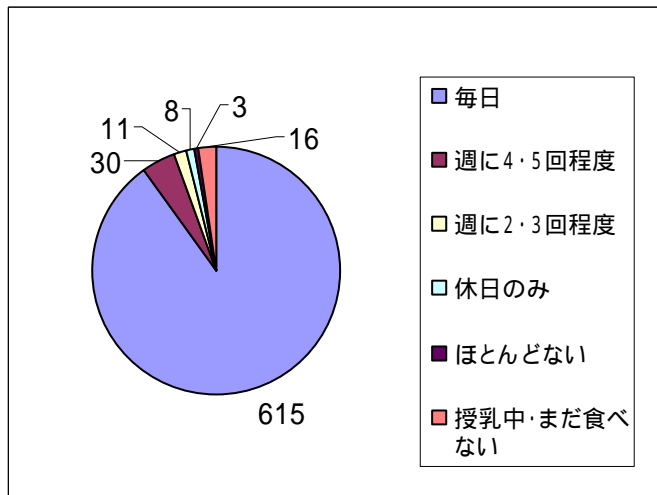
父親は一緒に食事をとれていない状態が顕著にでている。
休みのみ、ほとんどないが朝食で42%、夕食は約30%と示している。

母親

朝食



夕食

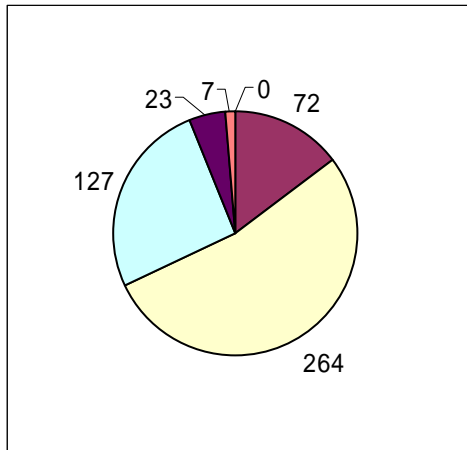


母親は朝食を一緒に食事をしているが77%、夕食は90%と、一緒に食べている人が多いが、朝食で休みのみ、ほとんどないが11.7%いるが、忙しくて時間がとれないのか理由がわかるとよかった。

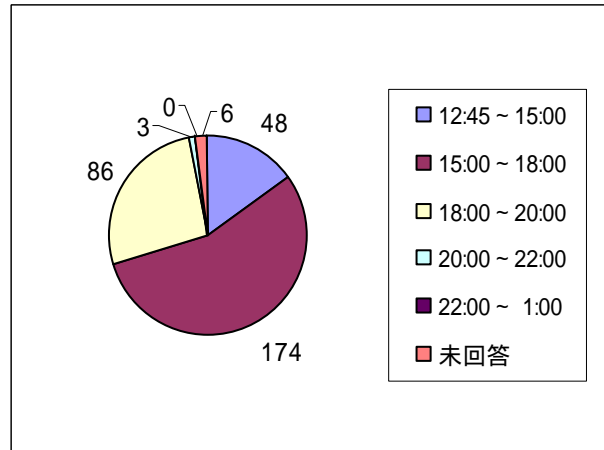
問 1 1 帰宅時間

日勤

父親



母親



	父親		母親	
12:45 ~ 15:00	0	0.0%	48	15.1%
15:00 ~ 18:00	72	14.6%	174	54.9%
18:00 ~ 20:00	264	53.5%	86	27.1%
20:00 ~ 22:00	127	25.8%	3	0.9%
22:00 ~ 1:00	23	4.7%	0	0.0%
未回答	7	1.4%	6	1.9%
合計	493	100.0%	317	100.0%

父親は18時～20時が半数以上で多いが、20時～1時くらいまでが30.7%いる。夕食の時間には間に合わない。

母親は15時から18時までが半数以上を占めている。18時～20時までが28%おり、夕食の準備時にいないのも現実である。

夜勤

	父親		母親		
22:00 ~ 23:00	5	26.3%	21:30 ~ 22:00	2	16.7%
2:00 ~ 4:00	3	15.8%			
4:00 ~ 6:00	5	26.3%	4:00 ~ 6:00	4	33.3%
6:00 ~ 9:00	5	26.3%	6:00 ~ 9:00	6	50.0%
9:00 ~ 12:00	1	5.3%			
合計	19	100.0%		12	100.0%

問 1 2 子どもに関して日常悩んでいる、気になること

	就学前児童		小学校学童	
	件数	割合	件数	割合
1．病気や発育・発達に関すること	102	11.5%	106	10.2%
2．食事や栄養に関すること	95	10.7%	79	7.6%
3．育児方法がよくわからない	24	2.7%	12	1.2%
4．子どもの接し方に自信が持てない	49	5.5%	52	5.0%
5．子どもとの時間を十分にもてない	78	8.8%	110	10.6%
6．話し相手や相談相手がいないこと	15	1.7%	11	1.1%
7．仕事や自分のやりたいことが十分できない	79	8.9%	74	7.1%
8．子どもの教育に関すること	67	7.5%	137	13.2%
9．友達づきあい(いじめを含む)に関すること	57	6.4%	106	10.2%
10．登園拒否など	8	0.9%	9	0.9%
11．子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ない	27	3.0%	53	5.1%
12．配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わない	19	2.1%	30	2.9%
13．自分の子育てについて、親族、近隣の人、職場などまわりの見目が気になる	21	2.4%	12	1.2%
14．配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	16	1.8%	20	1.9%
15．子どもを叱りすぎているような気がする	112	12.6%	149	14.4%
16．子育てのストレスがたまり、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまう	34	3.8%	24	2.3%
17．地域の子育てサービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない	14	1.6%	12	1.2%
18．その他	20	2.3%	13	1.3%
19．特にない	51	5.7%	27	2.6%
合計	888	100.0%	1036	100.0%

就学前と小学生の親の悩みは、違いがみられた。就学前は、子どもを叱りすることがトップ、続いて病気や発育・発達に関すること。続いて食事や栄養に関すること、子どもとの時間を十分に持てないの順になっている。

小学生は、就学前と同じく、子どもを叱りすぎているような気がするがトップ、続いて、子どもの教育に関すること、続いて友達づきあい(いじめを含む)に関すること、病気や発育・発達に関することが同数である。

年齢がすすむにつれて、悩みも??きている。その他の意見も切実さがうかがわれる。

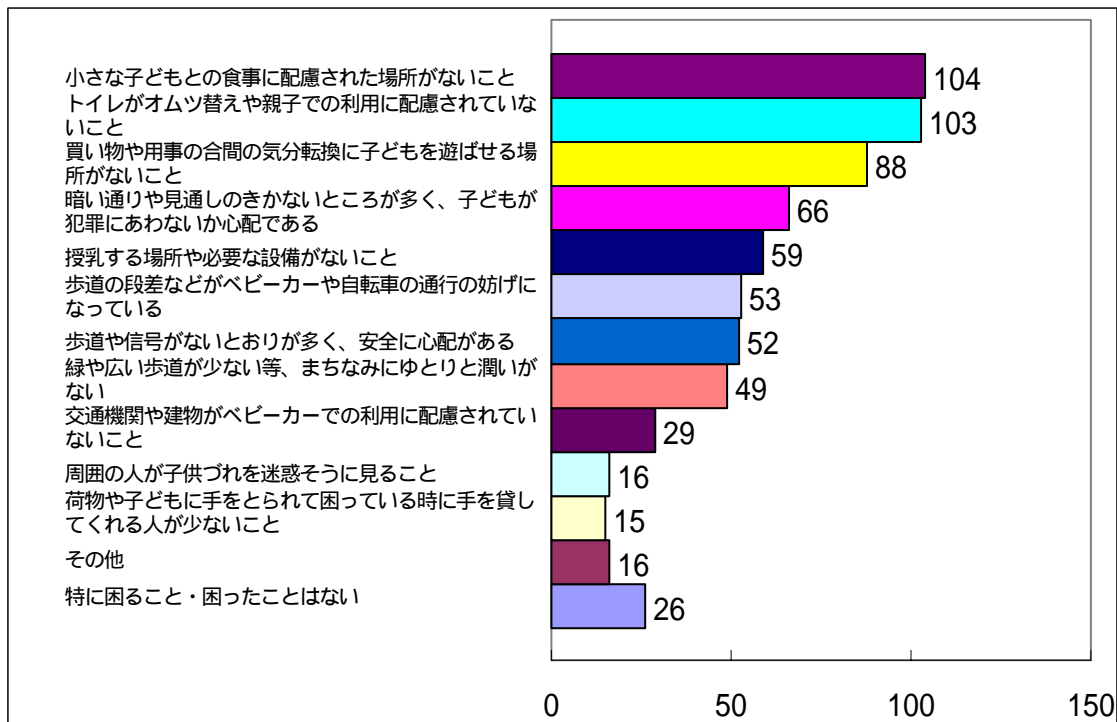
就学前児童のその他

祖父母と子育ての意見があわない	2
仕事が休めず学校行事があると悩んでしまう	1
子どもが安心して遊べる場がない(屋外)	1
もっと休日等で子どもを預けられる場がほしい	1
子ども専門の医者が近くになく、急病の時に困る	1
家の近くに友達がいない	1
障害がある子どもが近隣の人などまわりの目が気になる	2
子どもに細かいことを言い過ぎてしまうことがある	2
仕事のストレスで子どもに当たってしまう(ストレスを発散する場がない)	2
お金がかかる	1
家族の介護で子どもと外出ができない(遊びにあまり連れて行けない)	1
主に祖父母が面倒を見ているが、成長にしたがって孫離れするか心配	1
地域の子育ても大事だが、近所づきあいもしなければならず、学校・PTA・地区の行事が多すぎる	1
担任とのコミュニケーション	1
親の年齢が離れているため、話し合いがうまくできない	1
母親がいないこと	1

小学校児童のその他

子育てサービスは人気があるが、請うほう(有線)流れてもすぐに満杯になり、希望の場所へ行けない	1
お金がない、教育費がかかりすぎる	1
小児科が少ない	1
祖父母と子育ての意見が合わない	1
池田町以外の地域の子育て支援サービスの内容を知る手段が分からない	1
アトピー性皮膚炎がひどく、除去しているものが多い。女の子なので、大人になってお化粧ができるくらい回復するか	1
同居していると助かることもあるが、自分のペースで子育てができず、余計なストレスがたまる	1
子どもに対して細かいことを言い過ぎてしまう事がときどき	1
子どもを通じての母親づきあいにストレスを感じる	1
主人の帰宅が遅いので、子どもと十分コミュニケーションがとれないこと	1
祖母が子育てについてうるさく言う	1
仕事で疲れてしまうと思うように子どもと接しられない	1
性教育はいつからはじめればよいのだろうか(男の場合は特に)	1

問 1 3 子どもの外出の際困ること、困ったこと



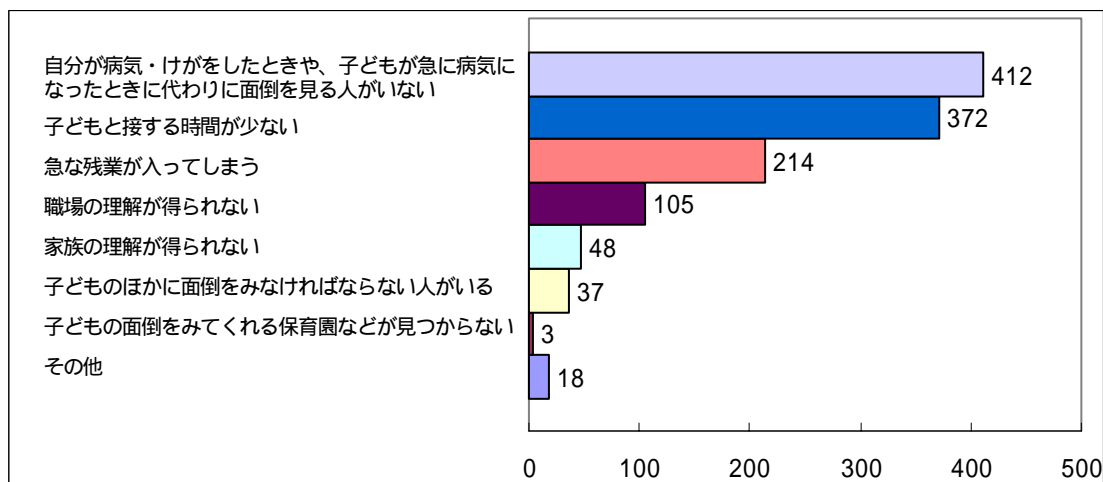
その他の内容

狭い道を散歩中にスピードを出しすぎる車が多すぎる
電車など席をゆずってくれない
公園が少ない、あっても安全に遊べるところが少ない
雨天時の遊び場がない (ex. 児童館)
男子トイレにオムツ替えシートがない、お父さんがこもりをす
アレルギー対応の外食店が少ない
歩きタバコは子どもの目の位置・顔の位置が多く若者が多いため気づくことがない
車の通りが多い
クラフトパークのベンチにテーブルがないのでおやつも食べ
子どもを乗せる買い物カートがあるが、1人しか乗せられない
とりあえず今は常に外で遊ぶ時等母親が一緒なので子ども
チャイルドシートに座ることを嫌がる
川にさくが無く、落ちないか心配である
いろいろな遊具や緑、ベンチなどの整った公園が町中にない
雨の日の遊び場がない。体育館など開放してもらえば

池田町は企業も少ないこともあって、小さな子どもとの食事に配慮された場所がないが1位であった。2位は、トイレかオムツ替えや親子での利用に配慮されているが2位である。また、買い物や用事の合間の気分転換に子どもと遊べる場所がほしいが3番目であり、一時的開放感もほしいようだ。

また、公園などベンチにテーブルという声も多々ある。

問 1 4 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること



その他の内容

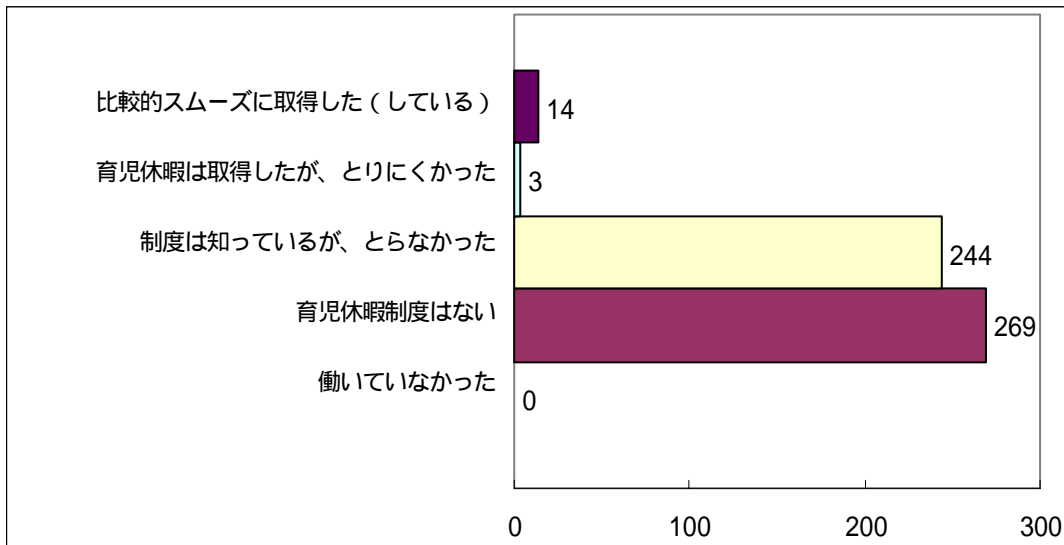
仕事に追われて子育ての要求にこたえられない
仕事をしていない
近くに働くところがない
行事にすべては参加できない
学校等の行事の把握（特に学校での様子など）
特になし
仕事に疲れ子どもの相手をするゆとりがない
家のことが後回しになる
仕事をする場所が近くになく、通勤時間もかかるため、子どもと接する時間が少ない
自分の時間ももてず、気分転換もできずストレスがたまってしまう
保育園の迎え時間が16:00だが、早いいため仕事の勤務時間、中途半端になる
行事と重なり、やりくりが大変
眠る時間が遅いので自分の仕事をする時間が少ない
不規則な勤務である
仕事で疲れると思うように子どもと関わることができない

自分が病気やけがをしたときや、子どもが急に病気になったときに代わりに面倒を見てくれる人がいない家庭が34.1%である。

続いて子どもと接する時間が少ない家庭が30.3%、3番目に急な残業が入ってしまうである。仕事という拘束された中で子育てのはざまに立って切実な実態であると思われる。

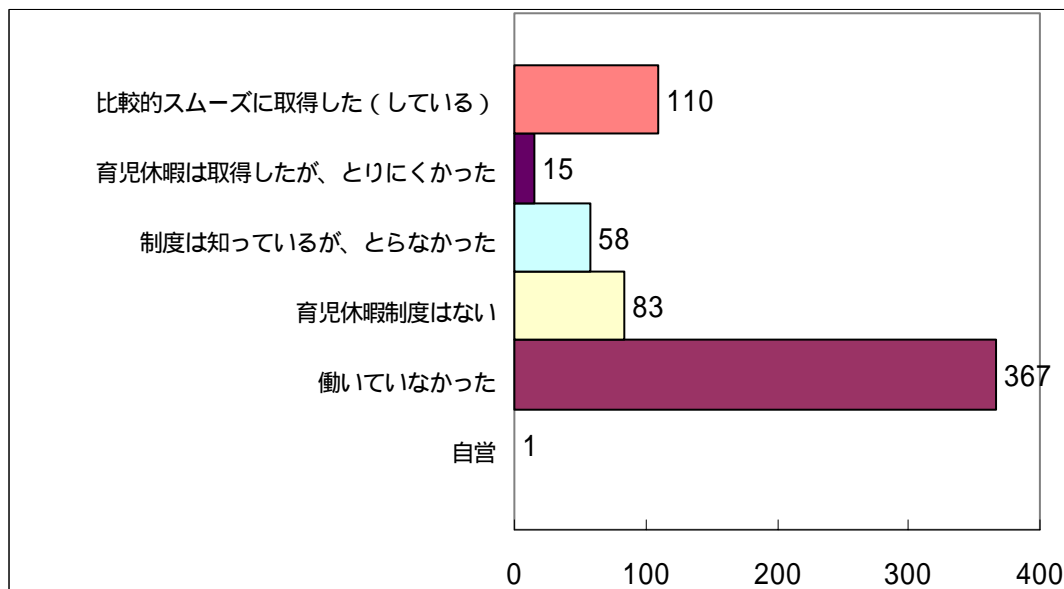
問 1 5 あなたは育児休暇を取得したことがありますか

父親



父親では取得した人が26%(14人)という少人数で、とらなかった46%、また制度がないが50.8%と、男性の育児休暇制度はまだまだである

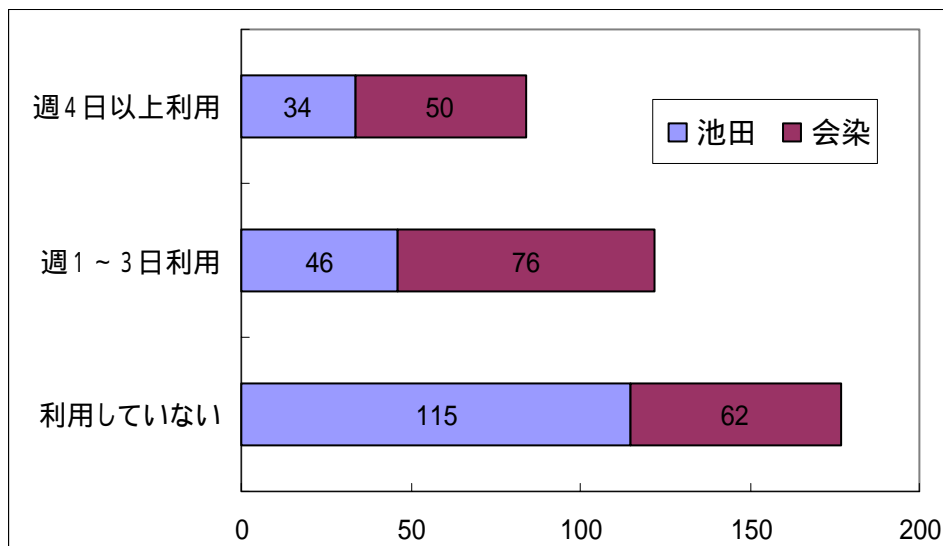
母親



母親のほうが取得した人が17.4%(110人)と働いている人数から見ると、ややとれていると思うが、とらなかった11.5%(73人)と多く、また制度がない13.1%(83人)と、保障されていない職場もまだまだ多い。

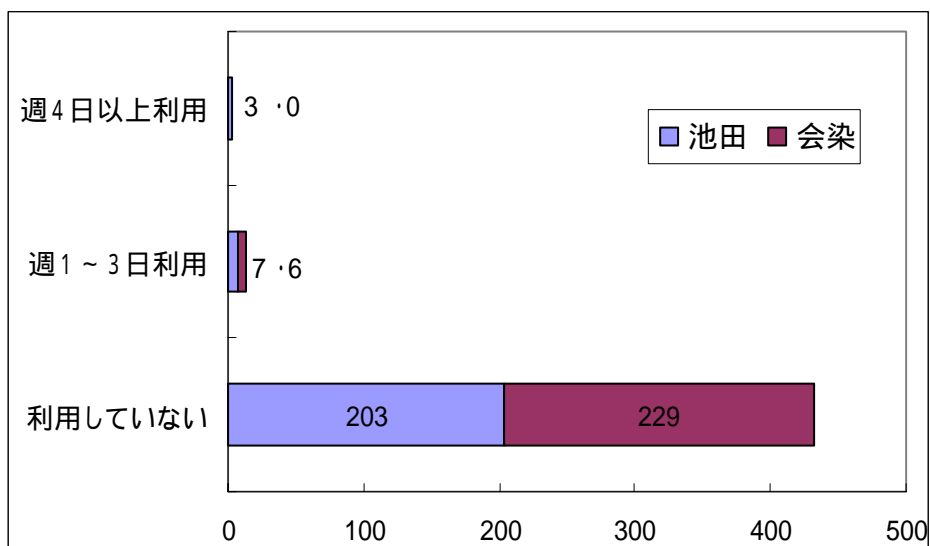
問16 お子さんは現在児童センターを利用していますか

平日



小学校児童の53.79%の子の子どもたちが利用している。
池田小学校41.03%、会染小学校67.02%が利用している。

土曜日



土曜日の利用は少ない。

問17 平日の放課後のお子さんの時間帯ごとの過ごし方

14:00～16:00

1. 学校にいる	281	73.4%
2. 児童センターで過ごす	47	12.3%
3. 児童センター以外の公共施設で過ごす	0	0.0%
4. 保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす	28	7.3%
5. ベビーシッターなどと過ごす	0	0.0%
6. 家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごす	4	1.0%
7. 家でひとりで過ごす	2	0.5%
8. 友達の家にいる	4	1.0%
9. 公園などで友達と遊んでいる	7	1.8%
10. クラブ活動や地域活動	0	0.0%
11. 学習塾や習い事	0	0.0%
12. その他	3	0.8%
13. 無回答	7	1.8%

16:00～18:30

1. 学校にいる	0	0.0%
2. 児童センターで過ごす	72	18.8%
3. 児童センター以外の公共施設で過ごす	1	0.3%
4. 保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす	223	58.2%
5. ベビーシッターなどと過ごす	0	0.0%
6. 家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごす	18	4.7%
7. 家でひとりで過ごす	10	2.6%
8. 友達の家にいる	6	1.6%
9. 公園などで友達と遊んでいる	34	8.9%
10. クラブ活動や地域活動	1	0.3%
11. 学習塾や習い事	11	2.9%
12. その他	7	1.8%
13. 無回答	0	0.0%

18:30~20:00

1. 学校にいる	1	0.3%
2. 児童センターで過ごす	0	0.0%
3. 児童センター以外の公共施設で過ごす	0	0.0%
4. 保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす	335	87.5%
5. ベビーシッターなどと過ごす	0	0.0%
6. 家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごす	7	1.8%
7. 家でひとりで過ごす	2	0.5%
8. 友達の家にいる	0	0.0%
9. 公園などで友達と遊んでいる	0	0.0%
10. クラブ活動や地域活動	14	3.7%
11. 学習塾や習い事	2	0.5%
12. その他	3	0.8%
13. 無回答	19	5.0%

20:00以降

1. 学校にいる	1	0.3%
2. 児童センターで過ごす	0	0.0%
3. 児童センター以外の公共施設で過ごす	0	0.0%
4. 保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす	350	91.4%
5. ベビーシッターなどと過ごす	0	0.0%
6. 家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごす	3	0.8%
7. 家でひとりで過ごす	1	0.3%
8. 友達の家にいる	0	0.0%
9. 公園などで友達と遊んでいる	0	0.0%
10. クラブ活動や地域活動	3	0.8%
11. 学習塾や習い事	0	0.0%
12. その他	3	0.8%
13. 無回答	22	5.7%

小学生の平日の放課後の過ごし方の時間帯をみると、

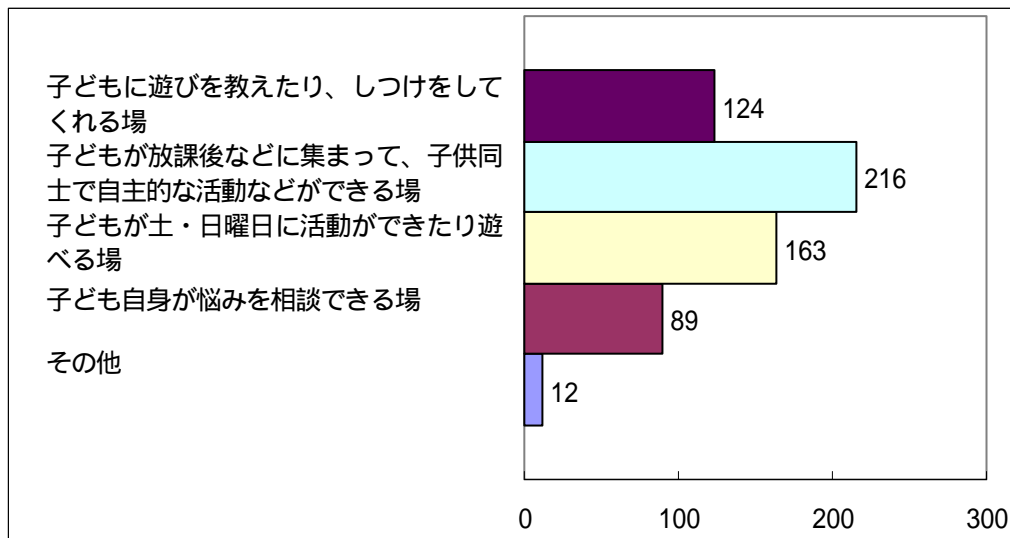
14:00～16:00 は、学校の完全下校が 16:30 であるため、ほとんどが学校にいる(73.4%)子どもが多い。低学年が児童センターを利用しはじめている。

16:00～18:30 は、保護者や祖父母等の家族・親族(大人)と過ごすのが 58.2%(223人)一番多く、児童センターも 18.8%の子どもたちが利用している。

18:30～20:00 は、保護者や祖父母等の家族・親族(大人)と過ごすのが 87.6%(335人)で一番多い。子どもたちだけで過ごすのも 1.8%(7人)いる。大半が家庭で家族と過ごしている。

20:00 以降は、91.3%(350人)が保護者や祖父母等の家庭・親族(大人)と過ごすが一番多い。安定した状況にあると思うが、家で兄弟姉妹と子どもたちだけで過ごす子どもも 0.8%(3人)いる。

問 18 身近な地域で、子供どうしが交流などができる場ができたばあい、
どのようなものが望ましいか

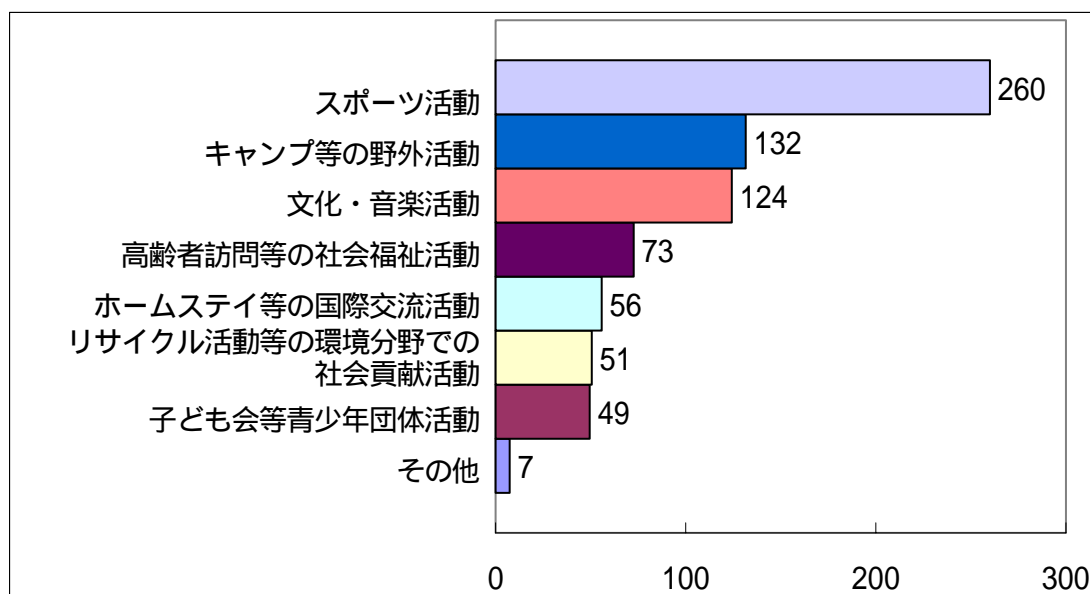


その他の内容

今でも十分にある。公園がよい	1
今の地域の有り様で十分感謝です	1
不登校のための中間教室、先生の資格のあるひとだけでなく、一般の方の協力	1
なし。お任せします。	2
子供同士の交流は地区だけのものだけで十分。家庭で家族と一緒に過ごす時間をつくる方が大切 だと思う	1
犯罪に結びつくことが多いという理由で特に低学年のうちは自由気ままに外遊びが昔のよう にいかず、結果センター利用や、わざわざ交流の場（コミュニケーションが自然でない状態）つく らなければ・・・ということにも疑問を感じている	1
しつけはいらないが、子どもに遊びを教える人がいる場がほしい	1
土曜日に日本舞踊練習をしています。日曜日はガールスカウトをしています	1
地区の遊園地を充実してもらえば子どもたちも集まって外で遊べると思う。私の小さい頃の遊具 のままで だていてブランコないかあぶな ので遊ばせるのはこわい	1
上級生がリーダーシップをもって下級生をみてるような活動の場	1
インターネットができる場	1

主に、子ども自身が悩みを相談できる場と子どもたちが集まって活動できる場を要求して
いる人が圧倒的に多い。児童センターの利用も考えられるが、屋外での自然体験の中で、
友達との活動の場を要望していると考えとれる。

問19 お子さんが参加したことがある、もしくは今後参加したい地域活動やグループはありますか

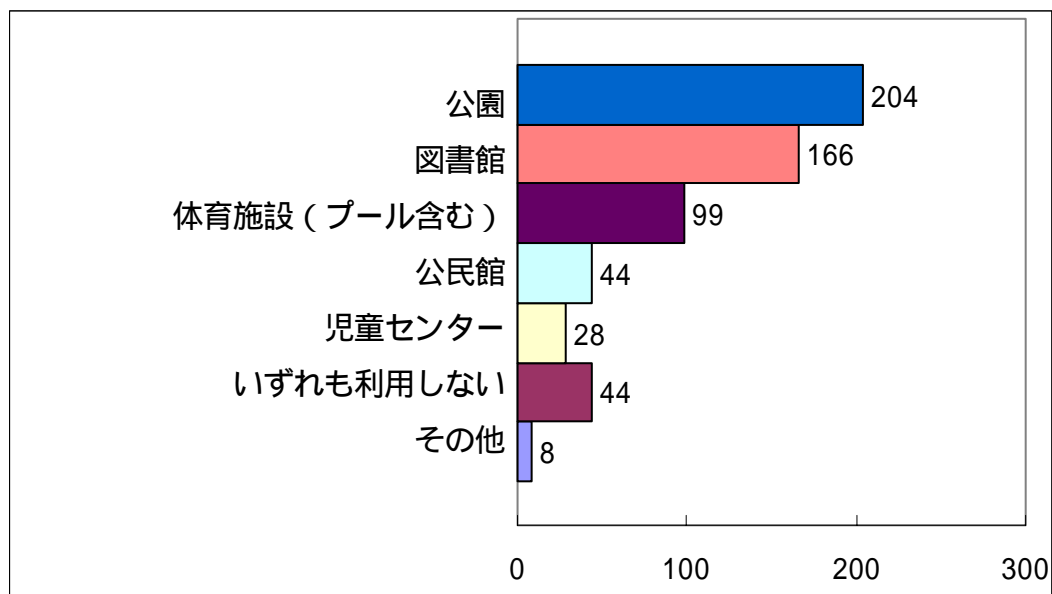


その他の内容

自然体験クラブ	1
なし	2
子どもの成長と性格を考えつつ本人の希望も聞きながらその都度考える	1
将棋クラブ	1
会染小のクラブとしての日本舞踊練習	1
月1回程三世代交流	1
学校でいくつか行なっている	
地域活動としての必要性を感じない	
いかないと思います	
子どもがやりたいと思うなら何でもいい	

小学生児童では、スポーツ活動が 34.6%(260人)と一番多く、次いでキャンプ野外活動 17.6%(132人)、文化・音楽活動 16.5%(124人)となっている。

問20 お子さんがよく利用する公共施設はなんですか

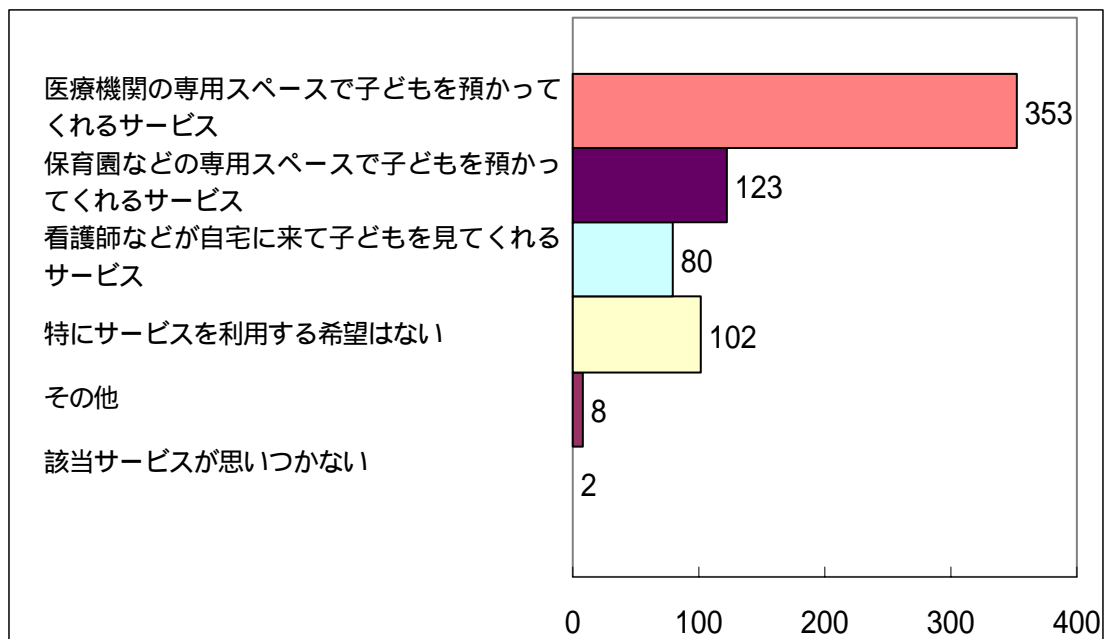


その他の内容

多目的研修センター	3
創造館	1
お宮	1
北保育園	1
やすらぎの郷広場	1
保育園	1

小学生児童では、公園が34.4%(204人)と1番多い。
続いて図書館・体育施設(プール含む)という結果になっている。

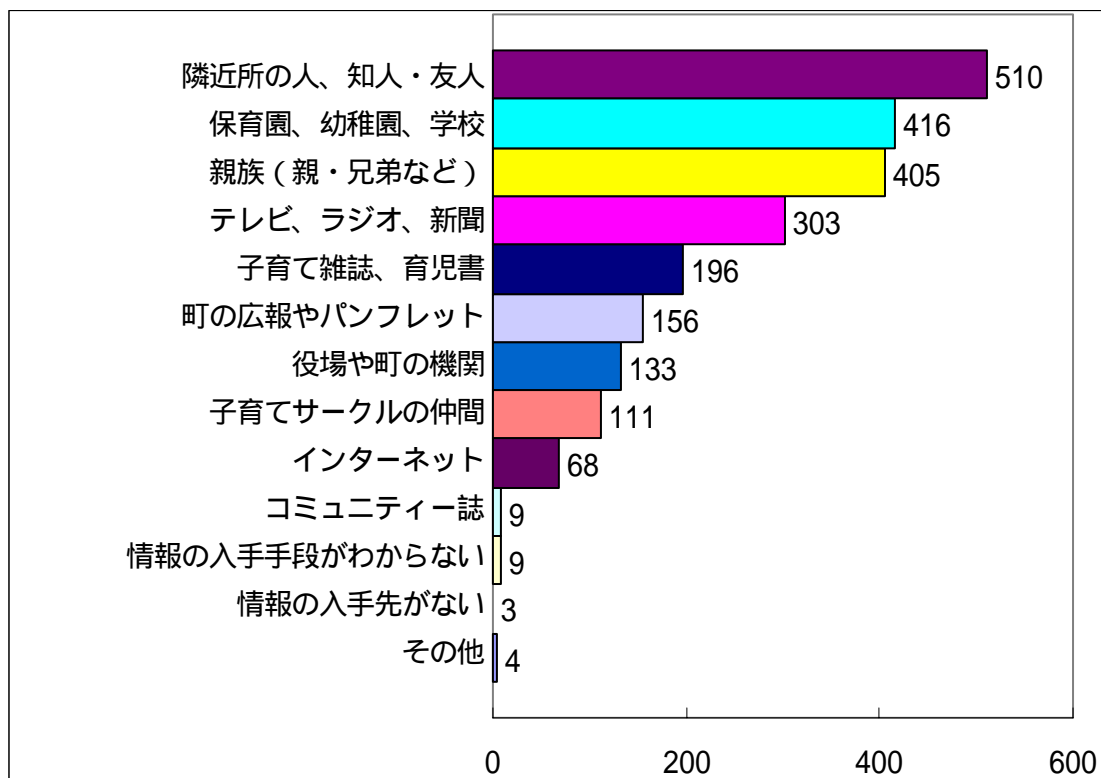
問 2 1 お子さんが病気や病気回復期であり、家族が面倒を見るのが困難な場合に、医療機関の連携により、看護師などが預かるサービスがあるとしたら、どのような場合に利用したいと思いますか



医療機関の専用スペースで子どもを預かってくれるサービスを 52.8%(353人)が、また、保育園などの専用スペースで子どもを預かってくれるサービスを 18.4%(123人)が要望している。

本来なら、親が面倒を見るのが1番望ましいと考えるが、現実的にできる状況にある人が多く、子どもと職場の板ばさみになり、切実な問題である。

問 2 2 子育てに関する情報をどのように入手していますか



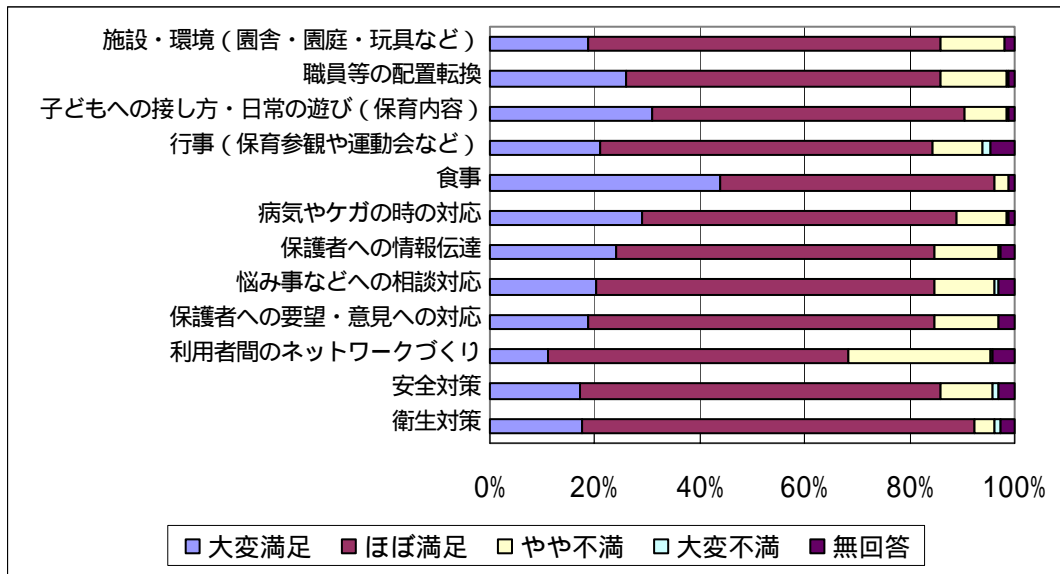
その他の内容

おけいこの仲間のママ	1
親の本能	1
仕事の仲間	1
子育てに関する情報とはなんなのでしょう？	1
講演会	1

情報の入手は、隣近所の人、知人・友人が22.0%(510人)と最も多い。続いて保育園、幼稚園、学校で、親族（親・兄弟など）が続いている。

小学生児童家庭で情報の入手先・入手手段がわからないが11人いた。

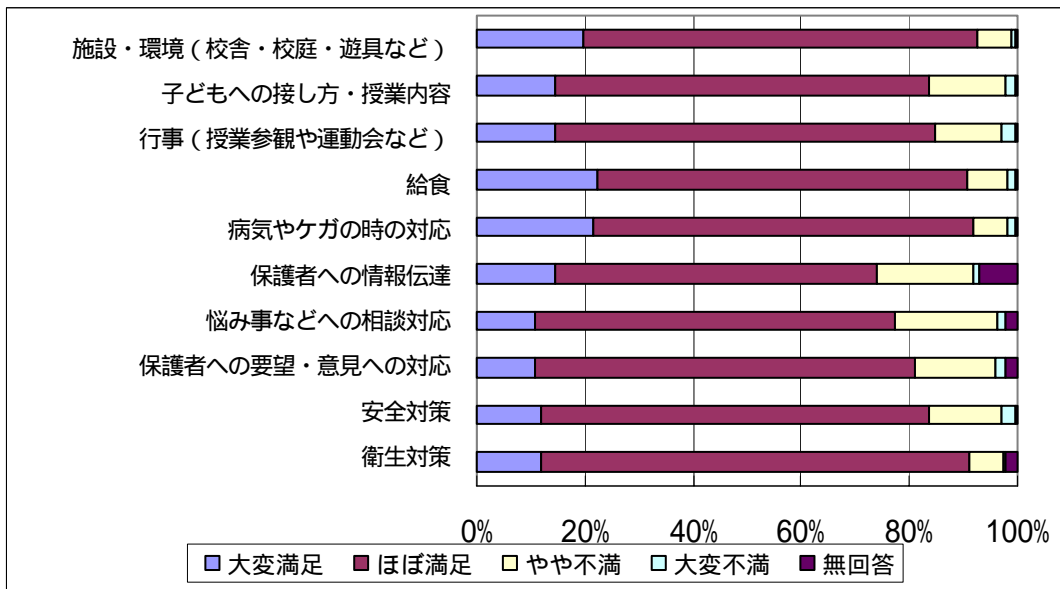
問23 保育園に対し感じていること



全体的に大変満足・ほぼ満足が大半をしめている。

やや不満の声も 4%~27%ほどあり、保育園でも不満の声を把握し、対処していくことが必要かと思われる。

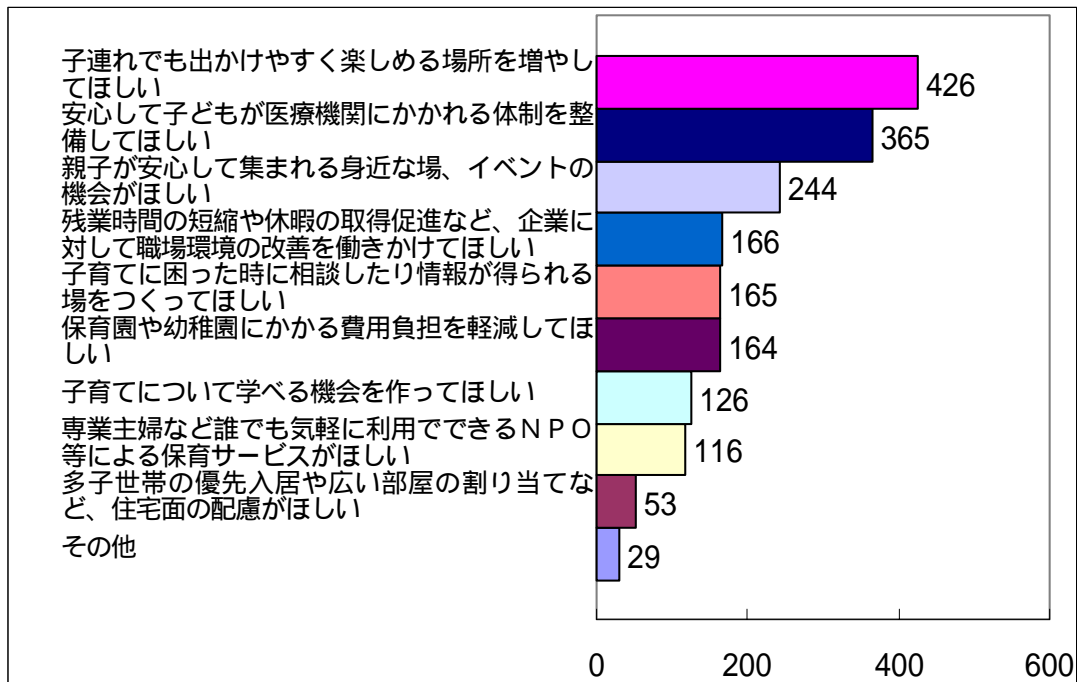
問24 小学校に対し感じていること



全体的に、大変満足・ほぼ満足が大半をしめている。

やや不満は、6.3%~19.1%とあるが、中でも悩み事などへの相談対応 19.1%(73人)と保護者への情報伝達 17.8%(68人)と多い。

問 2 5 町に対してどのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか



その他の内容

一時預かりなど費用が高すぎて具合が悪く預けられ	1
遊具のある公園がほしい	1
夫・祖父母への教育、啓蒙活動	1
池田町に幼稚園を設立してほしい	1
歩いていけるとところに公園がほしい。公園にトイレと遊具をもっと近づけてほしい。1つのりっぱな公園より行き届いた公園を。	1
今の時代、車が多く歩行者天国のような車が入ってこないような場所で自転車を乗り回せる場所がほしい	1
お散歩などをする時の道路の歩道をしっかり造ってほしい、中途半端になっていて途中できれていたりして困る。公園の数を増やしてほしい。	1
ベビーカーでも移動しやすい歩道を造ってほしい	1
特になし	1
家庭でじっくり親子が過ごすことができるように、土・日曜日にいろいろな行事を入れないでほしい	1
下校時間は一貫して統一されるべし	1
P T Aの会議を5時半から6時半にしてほしい、児童館で見ていただいていますので	1
小学校在学中の医療費の免除	1
子どもたちが集まれるような公園がほしい、平地でいけるところ	1
キャンプ場等楽しめる場所をつくってほしい	1
親子で自由に参加できる行事があればいい	1
児童館の体制をもっと考えてほしい、学校でのケガ、状況に関係なく保障してほしい	1

文化面での充実・・・子どもが参加できる音楽会や演劇展覧会など	1
児童センターの時間帯を7時半から19時にしてほしい	1
池田町は他の市町村と比べると充実してよい	1
支援される側の声・要望良く聞いて役に立つ利用しやすい施策をお願いしたい	1
池田町の保護者は全体的に控えめでおとなしい人が多い気がする、もっと親自身が活気を持たないと何をやっても無駄だと思う	1
親が学校行事を気にせず安心して労働できるようにしてもらいたい。行事で仕事に支障をきたし職を失うようでは困る	1
小学生以下の子どもが家で子どもだけになってしまうことも非行の第一歩ではないか、各自治会選出の育成会という役は地域の中から家に子どもがいるいないにかかわらず選出されるものなのか、保護者になる役なのか始めたときの主旨はどうだったのか	1
せめて3・4歳くらいまでは母親が見てあげることの重要さも教えてほしい	1
大変満足しています	1
屋外で安心して遊べる場所がほしい(子どもの行かれる範囲で)	1
児童センターの管理と子育ての徹底と推進	1
児童センターのおやつの見直し(150円は高い)	1

子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしいが23.0%(426人)で1番多く、続いて安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしいが19.7%(365人)である。親子が安心して集まれる身近な場・イベントの機会が13.2%(244人)が3番目に多い。遊べる場所、医療機関体制が大半をしめている。

(その他池田町への要望・意見)

1. 子育て支援について

- ・子どもの居場所の一本化をしてほしい
- ・居場所の開放日を増やしてほしい
- ・子どもと老人との交流できる場をつくってほしい
- ・義父母と同居している人の息抜きの場をつくってほしい
- ・子育て情報の提供をしてほしい
- ・車のない人が居場所への参加のためのバスの運行をしてほしい
- ・生の声を受け入れてほしい
- ・障害を持った子どもが小さい頃よりまわりの人たちから理解してもらうため、機会を通し啓蒙をし、孤立化しないような対応をしてほしい
- ・相談日・学級等の休日の開催
- ・すべての子育て家庭に支援金の受給体制にしてほしい
- ・行政の子育てサービスより、民間の福祉・教育産業の誘致
- ・実質的な対応のできる質の高い職員の配置(全般)
- ・子どもの悩み相談の対応の充実
- ・夫・祖父母への教育の啓蒙活動をしてほしい
- ・地域(まわり)の人たちに子育てを応援していただいて感謝している
- ・赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせる町づくりを目指してほしい
- ・池田町の子育て支援体制が他町村に比べ充実しているし、満足している

保育行政へ

- ・友達の様子などおたよりの発行をしてほしい
- ・就労と子どもの病気の配慮(すこしくらいのセキのとき)
- ・仕事と子育てで行事参加が大変
- ・保育園で子どもの具合が悪くなったときの仕事の休みにくい時、医療機関へのつなぎとしてほしい
- ・講演会の講師選択の検討
- ・保育園の親子の交流の場づくり
- ・保護者会役員体制の見直し
- ・保育園の送迎バスの運行を
- ・保育士の資格ある人の配置
- ・保育士の増員(子どもたちに充分手が行き届くように)
- ・保育園入園手続きの簡素化
- ・保育園屋根(天窗)の改修
- ・保育料の軽減
- ・一時保育料の軽減
- ・保育行政時代のニーズへの迅速的な対応に感謝
- ・事業内保育所の設置

- ・ 児童センターの職員の適正配置
- ・ 児童センターのあそびの広場等の内容の充実
- ・ 児童館のおやつ代150円は高い
- ・ 児童センターにボランティア活動の導入をしてほしい
- ・ 児童センターの存在と地域のあそびの希薄化
- ・ 池田児童センターを新しくしてほしい
- ・ 児童センターの職員は忙しそうに相談しにくい

2. 健康の確保について

- ・ 出生時の新生児家庭訪問は安心する。保健師のケアはうれしい。
- ・ 検診だけでなく、年齢別な活動ができる場がほしい
- ・ 発達検査用紙提出後の対応を丁寧にしてほしい
- ・ 安曇総合病院の小児科の診察時間の拡大（午後から夜・土曜日の日中）と、診療体制の拡充
- ・ 予防接種は自由に病院や医療機関に予約して受けられるような体制に
- ・ インフルエンザの予防接種に助成をしてほしい
- ・ 医療控除の枠をあげてほしい
- ・ 妊娠・出生時の検査費用の援助
- ・ 医療の無料化（小学生まで）
- ・ 医療費給付金の手数料300円はどうにかならないか
- ・ 思春期の子育て支援対策
- ・ 「子育てしやすい池田町」を守ってほしい
- ・ 3・4才児までは親が子育てをしたほうがよい

3. 教育環境

- ・ 地域の行事のあり方の見直し
- ・ 青少年育成会の本来の主旨の説明をしてほしい
- ・ 各自治会の育成会の役員は子どもの状況がわかっている人が選出されているのか
- ・ 地区行事の参加のあり方
- ・ 学校の先生でない方に小学生以上の教育方法について悩みを相談できる場の設置
- ・ 下校時間の統一をしてほしい
- ・ 通学時間帯のバスを電車の発車時間に合わせてほしい
- ・ 親子ふれあいのため、土・日の行事の縮小をしてほしい
- ・ 幼稚園を設置してほしい
- ・ 体育館で体操クラブの創設をしてほしい
- ・ 海外姉妹都市等への子どもの派遣交流の機会をつくってほしい
- ・ 世代間の交流の場づくりをしてほしい
- ・ 休日を親子でふれあう事業の企画をしてほしい
- ・ 空き店舗を利用した子どものさまざまなあそびを教える教室の開催
- ・ 小学校で利用するバスを大型のものにしてほしい

- ・地域みんなで子育てをする地域づくり
- ・子育てで最高の町、子どもを育てるなら日本一の池田町に

4 . 居住環境

- ・親子が安心して遊べる公園づくり
 - オムツや授乳が安心してできる
 - ちょっと見失っても安心して遊べるところ
 - 低年齢児の遊べるところ
 - トイレを洋式便座にし、手洗いを小人用に
 - 日陰のあるあずま屋かベンチ・水辺のある公園
 - 福祉センターの公園の水の浄化
- ・側溝・用水路にフタをしてほしい
- ・歩道や道路が弱者にとって不便
- ・通学路をじゃり道にしてほしい
- ・保育園・小・中学校までの歩道等の確保と改善
- ・街路灯の整備
- ・農村広場のあそび場の整備
- ・全天候型施設の充実
- ・ウォーキングや散歩コースの整備
- ・一時停止の標識の設置を
- ・ショッピングセンターなどの大型店を池田町へ
- ・池田町に住むとこんなメリットがあるという町に

5 . 子育てと仕事について

- ・ファミリーサポート事業の促進
- ・子育てをしている人の働き場所の相談窓口の設置
- ・町内に働く場所がほしい
- ・会染保育園にも一時保育体制をしてほしい
- ・学校（保育園）行事と仕事の両立の大変さ
- ・児童センターの開館時間の延長をしてほしい

6 . 安全の確保について

- ・自転車の乗り方のマナーの指導
- ・学校・校門付近の外来者の安全対策を
- ・危険箇所の点検と安全面の対策

7 . 保護児支援について

- ・児童虐待の早期発見と親のケア対策の促進